

思いを言葉に乗せて

弁論はたった7分間という限られた時間に、普段の生活の中で抱いた疑問を元に新たな提言をするものです。会場の聴衆に思いが確かに届いたと感じる瞬間があります。その幸福な一瞬のために自らの思索を深め、議論を重ね、言葉を磨きます。水海道一高の弁論部は真摯に活動を重ねています。興味を持った方はぜひHPをご覧ください。

内閣総理大臣賞第67回全国高等学校弁論大会

(主催 東海高等学校)

5月3日(金) 愛知県名古屋市

出場 中島有美「共に生きる」(2年・谷和原中)

弁論だけでなく、会場の聴衆との質疑応答もある独特の大会で、そのため出場は15名だけ。

中島さんは持てる力を十分に発揮しましたが、第1弁士という巡り合わせに涙を飲みました。



第34回茨城県高等学校春季弁論大会

(主催 茨城県高等学校文化連盟弁論専門部)

5月26日(日) 水海道第一高等学校

茨城県教育委員会教育長賞

茨城県高等学校文化連盟会長賞

茨城県水海道第一高等学校弁論部同窓会賞

優秀賞 山中 豊久(1年・大穂中)、山口 夏紀(2年・伊奈中)

優良賞 古谷 知香(1年・鬼怒中)、菅野 来実(2年・守谷)

特別賞 相良 真由(1年・愛宕)

泉水みちる(3年・けやき台)

高橋 涼香(2年・水海道中)

中島 有美(2年・谷和原中)

山口 夏紀(2年・伊奈中)

菅野 来実(2年・守谷)

相良 真由(1年・愛宕)



第61回全国高等学校決勝弁論大会

(主催 県立館林高等学校)

9月21日(土) 群馬県館林市

高橋 涼香「記憶を未来へ」(2年・水海道中)

中島 有美「共に生きる」(2年・谷和原中)

《団体の部》奨励賞 水海道一高

《個人の部》奨励賞 高橋 涼香



第3回安達峰一郎記念世界平和弁論大会

(主催 山形大学都市地域学研究所・山辺町)

11月16日 山形県山形市

山辺町長賞 中島 有美「私たちがつくる平和論」

(2年・谷和原中)

山辺町長賞 山口 夏紀「今、犠牲を考える」(2年・伊奈中)

全国から応募された原稿が審査され、上位10名のみが出場できる大会。中島は第2位で通過。山口は2年連続の出場。



第58回文部科学大臣杯全国青年弁論大会

(主催 日本弁論連盟)

11月22・23日 福岡県柳川市

奨励賞 高橋 涼香「地元志向が拓く未来」

(2年・水海道中)

落合智彦先輩(早稲田大・4年)が〈一般の部〉第3位の入賞しました。

亀陵杯で優勝した河野陽飛君(石下西中)も〈中高生の部〉第9位に入賞しました。

福澤諭吉記念第52回全国高等学校弁論大会

(主催 大分県中津市・慶応義塾)

12月6日

大分県中津市

古谷知香「便利は人を幸せにする？」(1年・鬼怒中)



国際ユース作文コンテスト(主催 ユネスコ)

若者の部 佳作 山口 夏紀「方言を救う、方言で救う」(157ヵ国 15, 105 作品中、日本人高校生として第4位) 山口さんは昨年も「第3回日韓交流作文コンクール」において高校生部門第5位入賞(全727作品中)に入賞しています。

平成 2 5 年度茨城県高等学校総合文化祭（第 3 5 回茨城県高等学校秋季弁論大会）

いばらき総文 2014 プレ大会

1 2 月 7 ・ 8 日 土浦市民会館

最優秀（茨城県知事賞） 高橋 涼香「地元志向が拓く未来」（2 年・水海道中）

準優勝（茨城県議会議長賞）中島 有美「今、私たちが平和を語ること」（2 年・谷和原中）

第 3 位（茨城県教育委員会教育長賞）山中豊久「豊かな実りのために」（1 年・大穂中）

第 4 位（茨城県高等学校文化連盟会長賞）山口夏紀「見えないものへのまなざし

ーグアム、沖縄、福島から考えるー」（2 年・伊奈中）

優良賞 古谷知香「便利は人を幸せにする？」（1 年・鬼怒中）

優良賞 菅野来実「水を考える、水から考える」（2 年・守谷）

奨励賞 相良真由「正しい恐れ方ー食品添加物から考えるー」（1 年・愛宕）

特別賞 岡野詩織「大切な夢」（1 年・鬼怒中）



今回は 1 位から 4 位まですべて海一弁論部が独占するという快挙を果たしました。この結果に慢心することなく、謙虚に来春の大会に向けて準備をしようと誓い合いました。高橋さんが来年土浦で開催される「いばらき総文 2014 弁論部門」へ本県代表として推薦されます。

亀陵杯第 5 回近隣中学校弁論大会

7 校 1 5 名の中学生の弁士が、6 月から約 3 ヶ月にわたる準備の成果を存分に発揮し、その新鮮な観点と独創性あふれる発想が、多くの聴衆に感銘を与えました。

氏 名	（中学名）	「演題」
優 勝	河野 陽飛 （石下西）	「無気力世代から抜け出して…」
準優勝	石田 雄大 （竹園東）	「流れゆく時代のなかで」
第 3 位	土田 彩華 （谷和原）	「あなたにもドラえもんが見えますか」
第 4 位	渡辺 智大 （鬼怒）	「藤一郎さんの遺言」
第 5 位	高橋 李佳 （水海道）	「茨城の魅力を考えて」

これまでの歩み

第 1 回大会	水海道、水海道西、石下、石下西、鬼怒、永山、谷和原、竹園東	8 校 9 名
第 2 回大会	水海道、水海道西、石下、石下西、鬼怒、谷和原、竹園東	7 校 9 名
第 3 回大会	水海道、水海道西、石下、石下西、鬼怒、小絹、谷和原、岩井、竹園東	9 校 1 2 名
第 4 回大会	水海道、水海道西、石下、石下西、鬼怒、坂東南、谷和原、竹園東	8 校 1 2 名



亀陵祭への参加

海一の弁論部は震災以降、福島の高校生の支援活動を継続しています。今年は被害を伝える写真の展示、磐城農業高校の物産品の即売を実施。当日の売り上げと募金を福島の高校生に送りました。



弁論部会ワークショップ

原稿もさることながら、より豊かな表現力を養うために、劇団の俳優さんを講師に招き、全身をフルに使用した表現法を学びました。



長崎総文祭弁論部会への視察

8月開催された総合文化祭の視察と翌年の茨城大会の広報活動を兼ねて、長崎県を訪れました。

熱気あふれる会場を目の当たりにして、これからの準備を考えると身が引き締まるように感じました。弁士として、そしてスタッフとして精一杯のことをやろうと思いを新たにしました。



閉会式において「いばらき総文 2014」をPRしました。

3年次生 1名



2年次生 6名

1年次生 3名

で活動しています。

来年は「いばらき総文」です。水海道一高が弁論部門の運営の中心です。全国の弁士を迎えることはめったにないチャンスです。一緒に大会を盛り上げましょう！

東北研修会（3月17日）



弁論部員と卒業生で宮城県東松島市の仮設住宅を訪問し、地元の方々との交流会を実施しました。

茨城県から高校生が来ることをとても楽しみにしてくれた方々の熱い歓迎の中、最近の様子を伺いながら、マッサージをしたり、歌を歌ったりしながら交流を深めました。

